

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

＜秋元湖H 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-1	○	○	○	○	○	○
H-2	○	○	○	—	○	—

＜秋元湖H 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)		水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	R3.10.18	08:52	09:10	16.0	12.2	軟泥	7.5Y4/2	植物片	14.0	3.5
H-1 (下層)						12.9						
H-2 (表層)	37.6616°	140.1226°		09:38	09:50	15.3	15.4	軟泥	7.5Y4/1	植物片	6.2	2.0
H-2 (下層)						14.5						

＜秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-1 (表層)	37.6575°	140.1264°	R3.10.18	08:52	7.1	<0.5	3.5	8.5	5.4	0.03	1.5	1	1.3	N.D. (0.0015)	0.0068	—
H-1 (下層)					6.5	0.5	4.4	2.1	4.9	0.03	1.7	6	4.4	N.D. (0.0015)	0.021	0.0012
H-2 (表層)	37.6616°	140.1226°		09:38	7.1	<0.5	3.4	8.3	5.7	0.03	1.4	6	3.7	N.D. (0.0015)	0.016	—
H-2 (下層)					7.0	<0.5	4.2	8.3	5.8	0.04	1.5	14	7.8	N.D. (0.0016)	0.024	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
H-1	37.6575°	140.1264°	R3.10.18	09:10	6.8	67	55.1	9.1	26.7	2.531	0.0	0.1	0.0	0.3	61.1	38.5	0.0088	2.0	74	2200	1.1
H-2	37.6616°	140.1226°		09:50	6.8	23	62.8	13.3	44.7	2.451	1.5	0.6	1.4	1.2	46.6	48.7	0.0053	9.5	77	2100	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜秋元湖H 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
H-1 H-2 H-3	湖内	37.6575° 37.6616° 37.6653°	140.1264° 140.1226° 140.1329°	R3.10.18	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	—	0.0080	—	—	—	N.D.	N.D. (4.0)	N.D. (2.8)	—
				R3.10.19	節足動物	軟甲	エビ <sup>*</sup>	サ <sup>*</sup> リガ <sup>*</sup> ニ	<i>Pacifastacus leniusculus trowbridgii</i>	ウチダザリガニ	7	0.41	成体	—	—	19	N.D. (1.2)	19	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	6	0.97	成魚	不明消化物	内臓除去	22	N.D. (1.1)	22	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	2.7	成魚	不明消化物	内臓除去	26	N.D. (1.3)	26	0.84
					脊椎動物	硬骨魚	サ <sup>*</sup> ガ	キュウリガ <sup>*</sup>	<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	36	0.25	成魚	—	—	11	N.D. (0.87)	11	—
	脊椎動物	硬骨魚	サ <sup>*</sup> ガ	サ <sup>*</sup> ガ	<i>Oncorhynchus masou masou</i>	サクラマス	1	0.73	未成魚	ワカサ <sup>*</sup> ガ	内臓除去	22.4	1.4	21	—				

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をプラン等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。